

e-pile next

コンパクトなのに頼れる支持力が決め手に!

某ビル新築工事

本件は、関内駅にほど近い商業ビルや飲食店が立ち並ぶエリアで計画された、鉄筋コンクリート造・地上9階建てビルの新築工事です。

設計事務所様より、当初、現場造成杭で検討していたところ、現地地盤調査で支持層が大幅に深くなり予算が厳しくなったこと、また狭隘地で歩行者・車両ともに交通量が多いという立地条件から、施工ヤードの確保が難しく、施工計画においては高い安全性と効率性の両立が必須となっていました。

設計条件としては、GL-40.9m以深の支持層への確実な貫入を図ることに加え、高い引抜耐力を確保しつつ、経済性も両立させることが求められました。

設計面ではe-pile next工法の大径軸φ508.0mmを活かした断面構成により水平力・引抜力に対応し、施工面ではコンパクトかつ高トルク機DHJ-45の実績をご提示。無排土施工による残土処理の削減や近隣負荷の低減など、現場条件に適したメリットを総合的に評価いただき、e-pile next工法の採用にいたしました。

実施工においても先端特殊部の「高力構造」と貫入性に優れた「菱形切削孔」が威力を発揮して確実な支持層への貫入を実現しました。

元請様には搬入誘導や養生鉄板の安全対策等のご協力をいただき安全且つ無事完工できました。

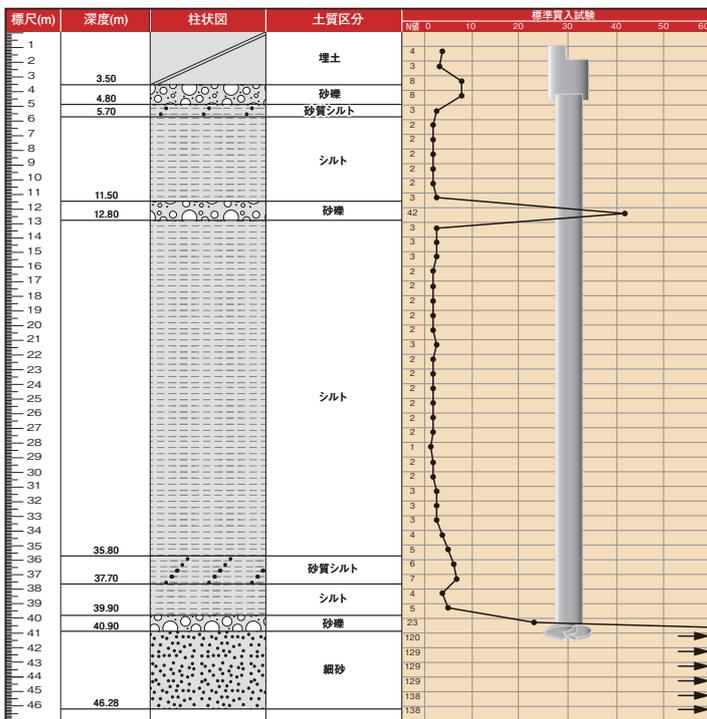
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	某ビル新築工事	杭 径	φ508.0 mm
施工地	横浜市中区	拡翼径	Dw 1000
用途	物販店・共同住宅	拡頭径	—
構造	壁式鉄筋コンクリート造 地上9階	深 度	SGL -37.95m
延床面積	779.06 m ²	支持力	2257KN
工 期	2025年9月24日～2025年10月15日	本 数	18 本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法

登録番号: KT-160071-A

国土交通省大臣認定 TACP-0641 砂質地盤(硬質地盤含む) TACP-0642 粘土質地盤

日本建築センター 基礎評定(引抜支持力) BCI 評定-FD0540-02 砂質地盤、硬質地盤、粘土質地盤

日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造 / 拡翼断面図

杭本体
特殊部(厚肉材)
(両面溶接) (特殊部/分割構成)

■ FEM解析図

建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。



道路凍結「冬の対策」を忘れずに!

神奈川県では箱根や丹沢など山間部の道路で毎年積雪や路面凍結が多く発生します。神奈川県では令和7年12月1日から令和8年3月31日までの4か月間、県が管理する道路を安心して通行できるよう、除雪などの凍雪害対策に、重点的に取り組みます。

① 凍雪害対策の取組について

県では、冬季の路面凍結や積雪に備え、各土木事務所において、凍雪害対策本部を設置し、**路面の凍結が予想される日は、必要な箇所に凍結防止剤を散布するとともに、積雪時には、除雪作業を行い、良好な道路交通の確保に努めます。**また、テレビやラジオ、現地の道路情報板などにより、道路を利用する皆様に道路情報を提供します。

② 道路を利用する皆様へのお願い

- 自動車への冬用タイヤ装着やチェーン携行など、積雪や路面凍結に備えましょう。
- 雪の日は、車での外出を極力控えてください。
- 大雪時の大規模な車両滞留を防ぐために、高速道路会社及び国が管理する道路では、予防的通行止めが実施される可能性がありますので、最新の気象情報・道路情報にご留意ください。
- 道路情報板に「すべり止め必要」と表示されている場合は、**安全な場所で早めにチェーンを装着**するなど、すべり止め対策を行ってください。



詳しくは
 神奈川県のHPを
 参照ください



ワンポイント 健康コラム

<<寒さに負けず、春に向けて体調を整える2月>>

一年で最も寒さが厳しい2月は体調を崩しやすく疲れもたまりやすい時期です。一方で、少しずつ春の気配も感じられ体調管理の意識が重要になるタイミングでもあります。仕事のパフォーマンスを維持するためにも、今月は無理なく実践できる健康のポイントを5つご紹介します。



春に向けて

① 冷えと血行不良への対策

2月は寒さによって血流が滞りやすく、肩こりや腰痛、手足の冷えを感じる方が増えます。長時間のデスクワークでは同じ姿勢が続きやすいため、1時間に一度は肩回しや軽いストレッチを行いましょう。首・手首・足首を温める服装も効果的です。体を冷やさない工夫をすることで、集中力の低下や疲労感の予防につながります。



② 感染症対策の継続が重要

インフルエンザや風邪の流行が続く2月は、引き続き感染症対策が欠かせません。手洗い・うがい、マスク着用などの基本的な対策を習慣化しましょう。また、十分な睡眠と栄養バランスの取れた食事は免疫力維持に直結します。体調に違和感がある場合は無理をせず、早めに休養を取ることが職場全体の健康維持にもつながります。



③ 冬の運動不足を解消する

寒さの影響で外出や運動の機会が減りがちな2月は、運動不足による体力低下が気になる時期です。通勤時に一駅分歩く、昼休みに軽い体操を取り入れるなど、日常の中で体を動かす工夫をしましょう。運動は血行促進だけでなく、気分転換やストレス軽減にも効果があります。無理のない範囲で継続することが大切です。



④ 花粉シーズン前の体調管理

2月後半からは花粉が飛び始める地域もあり、体調管理がより重要になります。十分な睡眠と規則正しい生活は、花粉症の症状を軽減するためにも効果的です。また、帰宅時に衣類についた花粉を落とす、室内を清潔に保つなどの対策も意識しましょう。早めの準備が、春を快適に迎えるポイントです。



⑤ 年度末に向けたストレス対策

2月は年度末を控え、業務が立て込みやすい時期でもあります。忙しい中でも、短時間の休憩や深呼吸を取り入れることで心身をリセットできます。仕事の合間に立ち上がって体を伸ばすだけでも、疲労軽減に効果的です。無理をため込まず、心と体のバランスを保ちながら業務に取り組みましょう。

経理マンが行く

<ハイカカオチョコレート>

こんにちは。管理部経理課の鈴木 航です。

健康に良いことから習慣的に食べている人が増えているハイカカオチョコレート。

具体的な健康効果はご存じでしょうか。カカオの健康効果を紐解いてみると、実は「この後会食だけど、血糖値は抑えたい…」「普段の食事で食べ過ぎてしまう」という方にとっては、非常に効果の高い食品であることが研究により明らかになりました。

今回はそんなハイカカオチョコレートの健康効果について、触れてまいります。

【ハイカカオチョコレートの健康効果】

ハイカカオチョコレートには、主に以下の健康効果が期待されています。

1. 動脈硬化、肌の老化予防、アレルギー症状の緩和

カカオに含まれるカカオポリフェノールには、高い抗酸化作用と抗アレルギー作用があり、体内環境の老化防止とアレルギー症状の緩和に効果が期待されています。

2. 血糖値の急上昇を抑制する

カカオに含まれるカカオポリフェノールと食物繊維(リグニン)がインスリンの分泌を助け、糖質の吸収速度を緩やかにすることから血糖値の急上昇を抑える効果が期待されています。

3. 腸内環境と便通の改善

カカオに含まれる食物繊維(カカオプロテイン、リグニン)は、腸内で酪酸(*)を生成する菌を増加させることで便通の改善や、腸内環境を整える効果が期待されています。*酪酸とは…大腸のエネルギー源で、便秘の解消や、悪玉菌の抑制、免疫細胞の活性化による大腸がんの予防に関与するなど、健康維持に不可欠な脂肪酸の一種です。

【摂取量や摂取するタイミングには要注意!】

身体に良いからといって、大量に食べることはおすすめできません。

なぜなら、ハイカカオチョコレートはカカオの含有量が多く、一般的なチョコレートよりも脂質やカロリーが高いからです。以下の摂取量、タイミングを参考に適切な摂取を心掛けましょう。

・摂取量の目安

スーパー等でよく見かける meiji の『チョコレート効果』であれば、1日に3~5枚の摂取量が推奨されています。

・タイミング

カカオの成分は徐々に体外へ排出されるため、1日数回に分けて摂取し、朝・昼・晩・会食参加前などの食前や、おやつつ時間に摂取することで効果が実感しやすくなります。なお、脂質が多いことから、就寝前等の夜遅くに摂取すると脂肪として蓄積されてしまうため、避けるようにしましょう。

米国で医療従事者約19万人を対象にチョコレートの実験を行った結果、ハイカカオチョコを週に5個以上摂取した人は、摂取していない人よりも2型糖尿病発症リスクが21%低減したそうです。

日々の生活にカカオを取り入れ、健康な身体づくりを目指してまいります!

健康効果

